

## 増田明美プロデュース 第1回チャレンジラン9月19日(日)開催 聖地国立競技場で日本初！参加型観戦レース



今まで日本になかった新しいタイプの陸上競技大会『第1回チャレンジランinナショナルスタジアム』が、今月9月19日(日)に陸上競技者の聖地・国立競技場(新宿区霞ヶ丘)で行われる。すでに、2600名以上の申し込みがあり、関心の高さがうかがえる。

日本初！参加型観戦レースと謳っているのは、第一に、小学生から大人まで、競技者と市民ランナーと一緒にトラックレースを楽しむこと。800m、1500m、3000m、5000mのレースが一日中、展開される。二つ目には、選手として走ったあと、観戦者になったり、応援したあと、選手として競技に参加したりできること。これはトラックならではの特徴である。今回は特別にグラウンドの脇に観戦ブースを設けたので、選手と同じ視線でレースを応援できる。選手の表情、息づかいなども味わえる。

また、スタートとゴールを陸上競技場にし、神宮外苑を走る10kmのロードレースも行われる。こちらは若干の当日受付もある。(10時スタート)

大会プロデュースの増田明美さんは「中学生で陸上競技を始めてから、国立競技場は私にとって憧れの場所です。初めて国立を走ったのは中学3年生の時。そそり立つスタンドと大きなスクリーン、覚えています。今でも、千駄ヶ谷の駅を降りて、カクテル光線に浮かび上がる国立競技場を見ると、吸い寄せられますよ。」

この大会は、そんなランナーのあこがれ“国立競技場”という舞台で、力一杯走り、精一杯応援することによって、場内に生まれる一体感、高揚感が大きな魅力となるでしょう。私も、皆さんに分かりやすくレースを解説します」と意気込みをみせている。

チャレンジランinナショナルスタジアムでは、競技者と市民ランナーが一体となって、陸上の普及をはかりたいと考えている。



増田明美/スポーツジャーナリストとして、執筆活動や陸上競技の解説などに携わる。陸連理事。

### ●魅力ある招待選手

招待選手も実力者が揃った。

男子：2004 京都シティハーフマラソン 優勝者  
2004 札幌国際ハーフマラソン 優勝者

前田貴史選手(アラコ)  
J.ムアンギ選手 (NTN) 他

女子：アテネオリンピック5000mケニア代表  
2004 横浜国際女子駅伝ナショナルチーム代表  
2004 全国都道府県対抗女子駅伝島根県代表  
2004 札幌国際ハーフマラソン 2位

J. ワンジク選手 (パナソニックモバイル)  
藤岡里奈選手 (パナソニックモバイル)  
杉浦加代選手 (パナソニックモバイル)  
斎藤由貴選手 (第一生命) 他

### ●サブイベント「走・跳・投」

当日は陸上競技の「走・跳・投」をテーマに、「ちびっこ100m走」「走り幅跳び」「ソフトボール投げ」の3種目を開催。受付はその場でできる。優勝者にはプレゼントもある。

### ●大会開催要項

開催日 9月19日(日)  
会場 国立霞ヶ丘競技場(ナショナルスタジアム)  
主催 チャレンジラン実行委員会  
共催    
受付 8:00～ ＊各スタートの1時間前  
開会式 9:00～9:30  
種目 800m 小学5～6年生 (20名×4組)  
1500m 中学生以上 (20名×7組)  
3000m 中学生以上 (20名×5組)  
5000m 高校生以上 (50名×13組)



5000m チャンピオン(出場標準タイム 男子:13分50秒女子:16分00秒)(20名×2組)  
10kmロード 高校生以上2000名 ＊制限時間90分

【大会ホームページ】

<http://www.runnet.co.jp/info/a/2004/challengerun/index.html>

当日のご取材につきましては事前に下記までご連絡ください。

#### ●当日の取材・参加についてのお問い合わせ

ランナーズ・事業部/相馬

TEL:03-3714-1311 E-mail :event@runners.co.jp

#### ●ランナーズ12月号にて大会の様子・結果をご報告します

10月21日発売の月刊誌『ランナーズ』12月号にて大会結果など紹介いたします。

このリリースに関してのお問い合わせ

ランナーズ 広報 TEL:03-3714-4456